

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>2 番 勝俣 公好</p>	<p>1 箱根町と南足柄市を結ぶ道路について</p> <p>2 箱根町と南足柄市を結ぶ道路における路線バスの運行について</p>	<p>私は、この道路について平成 23 年 6 月定例会に最初の質問をさせていただき、この質問で 5 回目の一般質問となります。過去の質問と重複することがあるかと思いますが、工事が進み、開通の目途が立ってきたことから改めて伺います。</p> <p>1 開通予定時期について</p> <p>2 観光について</p> <p>①観光圏を結ぶ道路だと思うが、どう考えるか。</p> <p>②世界ジオパークへ向けてどう考えるか。</p> <p>3 渋滞について</p> <p>①国道 138 号線に接続する交差点の渋滞は考えられるか。</p> <p>②小田原方面への 1 号線の渋滞はどのように考えるか。</p> <p>平成 29 年 3 月に一般質問をさせていただきました。路線バスの運行により観光客の回遊往来が深まれば、両市町の振興になる。南足柄市周辺に高校があり、通学時間が短縮できる。両市町から通勤している方がおり、バス通勤ができる。松田町に県立足柄上病院があり、車を運転できない方がバス利用でき、足柄上病院で診察してもらえば、診察券があることで救急車利用の時、受け入れてもらう可能性が高くなり、救命に役立つ。仙石原にバスターミナルが建設予定ですが、このターミナルに南箱バスが入ることで仙石原が振興する。以上のことから、南箱道路に路線バスが必要と考えますが、町の考えを伺います。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>12番 石川 栄</p>	<p>1 ごみ処理広域化の検討状況について</p> <p>2 箱根町自殺対策計画の今後の進め方について</p>	<p>①下郡3町のごみ処理広域化の進捗状況について</p> <p>②湯河原町真鶴町衛生組合が再生工事を進めている最終処分場への町としての関わり方について</p> <p>③町としてのごみ処理広域化に伴う施設整備に関する考え方について</p> <p>①個人情報という観点からも、今後の計画をどのように進めていくのか。</p> <p>②ゲートキーパーの養成について</p> <p>③町外在住自殺者防止対策について</p>
<p>13番 折橋 尚道</p>	<p>1 2019～2022年度箱根町教育方針について</p>	<p>平成31年3月5日に示された2019～2022年度箱根町教育方針について伺います。</p> <p>①箱根町教育方針は、平成30年6月15日に閣議決定された、国の第3期教育振興基本計画に対応して決定されたと思いますが、国の計画に対して特に留意された内容はどのようなものか。</p> <p>②国の教育振興基本計画冒頭には、教育の普遍的な使命が明記されています。国の使命とは別に、町が考える教育的使命を伺います。</p> <p>③箱根町は教育基本方針を毎年決定しています。内容も時代に合わせて改正しておりますが、平成18年改正教育法成立から見ても社会は大きく変化しておりま</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(折橋尚道)		<p>す。同じように教育現場も変化が激しいと思いますが、どのように感じていますか。</p> <p>④一貫教育の推進について、成果と課題について伺います。</p> <p>⑤第3期重点方針のテーマにも児童減少が書かれているように、集団活動に関して支障がないか危惧しております。教育指導内容についてどのように配慮されていますか。</p> <p>⑥教科担任制について学校組織体制研究を進めますが、教科担任制は英語・理科・ITなどの強化のほか、保護者PTA対応職員など想像できますが、どの範囲まで踏み込んでいくのか、それにより教職員の負担軽減による教育指導力向上を促す効果が期待できるのか。</p> <p>⑦国の第3期教育振興基本計画には、2030年以降の社会を展望した教育政策の重要性として、人間形成に関しても個人と社会の姿が示されております。そこで、長期的な視野における箱根教育の将来像を伺います。</p>
7番 村野由紀子	1 終活について	<p>「終活」とは、自らの人生の終わりに向けた活動の略語です。人生の最期に向けて様々な準備や自分のこれまでの人生を総括することです。2025年には団塊の世代のすべてが75歳以上になり、要支援・要介護認定者、認知症高齢者、単身あるいは夫婦のみの高齢者世帯が増加すると見込まれています。概ね、6年後の2025年には町の人口は1,774人減少し10,217人、65歳以上の高齢者人口は</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)	<p>2 がん患者の支援について</p>	<p>4,149人、高齢化率は約40%に達するものと推計されます。誰にどのように自分の最期を託していくのか、亡くなった後、遺品などどうすればよいのかなど、ひとり暮らしの方や身寄りのない方、身内と疎遠になっている方、また経済的にゆとりのない高齢者の中には、自身の葬儀や亡くなった後の不安を持っている方もおられます。毎日新聞の調査では、政令指定都市で亡くなった方30人に1人が無縁遺骨となり、ここ10年間でほぼ倍増、都市部での高齢者の無縁化が進んでいる現象であるとのことでした。統計はこね30年度版には、独居の高齢者は27年は926人ですが、30年は994人と4年間で68人も増えていました。綾瀬市のエンディングノート人生いきいき手帳には自分のこと、家族のこと、もしものときのことなど記入できるようになっていて、延命治療の有無などもあります。エンディングノートを通じて町民の方が終活に意識をもち、安心して最期を迎えられるような環境づくりが必要と考えます。</p> <p>①無縁遺骨の現状や独居で身寄りがいない方が亡くなられた場合など、どのように対応されているのかお伺いします。</p> <p>②終活支援の現状とエンディングノートなど、今後の考え、取り組みについてお伺いします。</p> <p>がんは、医療の進歩によって生存率が改善したことで、がん患者の3人に1人が働く世代でもあることから、がんは治療しながら働く時代へと変化しています。告知による精神的な動揺や職場に迷</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)		<p>惑をかけたくないなど、治療前に退職をする方が40%を超えていると言われていいます。このため治療と仕事の両立を支援、普通の生活を送るための支援の課題があるとし、国の第3期がん対策推進基本計画では、がんとの共生を掲げ、質の良い療養の向上が挙げられています。そこで、がん患者への支援についてどのように取り組まれているかお伺いします。</p>
<p>11番 遠藤 秀則</p>	<p>1 防災における外国人への対応について</p> <p>2 児童公園等子どもの遊べる場所における遊具について</p>	<p>5月19日に箱根山の噴火警戒レベルが1から2「火口周辺規制」に引き上げられました。報道を見た多くの方々が心配され電話を頂きましたが、前回とは違う旨を話し、前回もそうですが、箱根山ではなく大涌谷であることを説明し、住民は引き上げ前と変わらない生活をしていることを話しました。</p> <p>そのような中でも、多くの外国人観光客の方を目にしますが、いろいろと話を聞くと、外国人の方々は噴火よりも地震に対して敏感であり、危機を感じているとのことです。そこで、町の防災行政無線において日本語だけでなく英語等でも放送ができないか伺います。また、今後の対応についてもお伺いいたします。</p> <p>児童や幼い子どもがいる保護者の方々から、公園や遊び場から子ども達の遊べる遊具がなくなってきており、子どもを遊ばせて楽しむ場所がないと聞きました。子どもや保護者の方々はずり台、ブランコ等を設置してもらいたいとの要望がありますが、町は子ども達が安心して</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(遠藤秀則)		て遊べる場所についてどのように考え、また、整備を行っていくのか伺います。
8番 川端 祥介	<p>1 大涌谷警戒レベル2の対応等について</p> <p>2 箱根町消防職員の逮捕について</p>	<p>去る5月19日、大涌谷園地のレベルが2に上がり、同園地内に立ち入りが規制されました。</p> <p>①レベル2に上がった経緯と、現在の状況について</p> <p>②園地内の事業者に対する支援や、レベル変化に対応する準備について、それぞれお伺いします。</p> <p>去る5月8日、消防職員が暴行容疑で逮捕されるという事件がありました。本件の概要と見解、更なる綱紀粛正及び再発防止の考え方をお伺いします。</p>
5番 勝俣 剛一	1 固定資産税について	<p>令和元年以降財源不足は固定資産税の超過課税継続により危機的な状況は回避ができる。</p> <p>しかし、一部土地価格の上昇はあるものの、依然として町全体の地価の下落傾向が続いている。令和元年以降の景気状況も不透明であり、既存住宅は3年に一度の評価替えで徐々に下落し、地価にしても、一部別荘地等で底を打った感はあるものの住宅系を中心に上昇が期待できないとなると、やはり1.58%の超過課税を継続しなければ財源確保は難しいと思われる。</p> <p>平成30年度は3年に1度の評価替えの年でしたが、今後の固定資産税を計る上で以下3点について伺います。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(勝俣剛一)		<p>①最近の地価公示価格の動向について</p> <p>②評価替えが町財政にどのように影響を及ぼしたのか、土地家屋償却資産別に伺う。</p> <p>③地価下落が町財政に影を落としている中、新築家屋や償却資産の伸びに支えられて評価替えを乗り切った感がありますが本年の状況はどうか伺う。</p>
10 番 稲葉親太郎	1 人口減少並びに定住化対策について	<p>箱根町第6次総合計画基本計画・前期基本計画の期間の内、約半分の期間が経過しました。この計画は基本目標1から6まであり、34の施策から形成されています。これらの施策を前提として、町を挙げて組織横断的に力を入れて取り組むべき4つの重点施策分野を設定し、この重点施策分野に関係する施策については、役場内の関係部門だけではなく、役場以外の人や組織が連携して施策を進めることにより、より一層の効果を上げるとされています。その4つの重点目標の1つとして、若者定住の促進を掲げておりますが、日本全体の人口が減少している中、計画によると、当町の2021年の推計人口は、11,000人と記載があります。現在の町の人口は5月1日現在11,335人となっており、人口減少が進んでいます。そこで、人口減少・定住化対策について以下の3点についてお伺いいたします。</p> <p>①若者定住の促進について町を挙げて組織横断的に取り組んできたこれまでの経過と、その検証をされているのかお伺いいたします。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(稲葉親太郎)		<p>②基本目標 3「誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり」の中で人口減少・定住化に係る施策の経過並びに検証等をお伺いいたします。</p> <p>③当町において、自治会組織や各種団体や各事業所等において、人口減少が起因している弊害等をお伺いいたします。</p>
10 番 山田 和江	<p>1 大涌谷周辺の火山活動について</p> <p>2 交通問題改善について</p>	<p>5月19日、箱根山の噴火警戒レベルが2に引き上げられ、現在、大涌谷は立ち入りが規制されています。今回の火山活動は芦ノ湖西岸や駒ヶ岳付近を震源とする火山性地震との報道がされていますが、噴火警戒レベルが2に引き上げられるに至った経緯と規制解除への今後の見通しについて質問します。同時に大涌谷は箱根観光の目玉であり、立ち入り規制は観光への影響も生じることから、その状況についても質問します。</p> <p>箱根町の交通問題改善のために、以下の点について質問します。</p> <p>①70歳以上の高齢者のバス、電車代の負担軽減のために、2,500円の補助制度を創設すること</p> <p>②最寄りのバス停へのアクセスのためコミュニティバスを走らせること</p> <p>③強羅・宮城野間のバス路線の増便と、仙石原仙1号線福風食事処付近のバス停の設置について</p> <p>④小田急高速バスを宮城野まで乗り入れることについて</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(山田和江)	3 温水プールの10月から6ヶ月間の閉鎖について	<p>さくら館の温水プールが天井板の改修工事のため、10月から6ヶ月間閉鎖されることについては3月定例会でも質疑をしましたが、その後もプール利用者から代替施設の要望が出されています。介護予防で利用されている方も多い中で、6ヶ月もプールでの運動ができなくなれば影響も大きいと思われます。町としても健康を維持し、介護状態にならないようにするためにも代替施設の確保に取り組むべきと考えます。また、プール利用者を増やすためにも最上階の観覧者スペースに筋力トレーニングの機械を設置することも必要と考えますので質問します。</p>